

# 校内研修計画

山梨市立日下部小学校

## 1. 学校課題

- ・「学級力向上プロジェクト」の実践を継続的に実施しており、児童は居心地のよい学級をつくっていくことの意味や大切さを知り、全校体制での実践が定着してきている。
- ・昨年度の児童アンケートから、家庭学習の定着状況は、週5～3日程度の割合は83%、自主学習の定着状況は、週5～3日程度の割合は48%という結果となった。宿題を含めた家庭学習の割合は高いが、自主学習に焦点を絞ると取り組んでいる児童の約半数となっている。
- ・過去3か年の各種学力調査（CRT・NRT・県学力把握調査・全国学力状況調査）の結果（国語・算数）から、教科や実施調査によって平均値を上回っていたり、下回っていたりしている。全体的には平均値を1ポイント強、下回っている。教科ごとと比較すると、国語よりも算数の方がやや下回っている。算数では、記述したり、比較し関連付けたりする問いに課題が見受けられる傾向がある。

## 2. 研究主題 「確かな学力」を身につけさせる学習指導の研究

副主題 ～「学級力」を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して～

## 3. 主題設定の理由

過去6年間「学級力向上プロジェクト」として、自分たちの学級を自分たちで良くしていく活動（スマイルアクション）を決め、望ましい学級集団作りを全校体制で行ってきている。学級集団作りを通して、児童は居心地の良い学級を作っていくことの意味や大切さに気付くことができ、一定の成果を残すことができた。併せて、望ましい学級集団の形成を基に、学習活動に意欲的に取り組み、集団で学習課題に取り組む中で「確かな学力」を身につけさせる学習指導について研究を重ねてきた。

特に一昨年度から、山梨県教育委員会より「主体的・対話的で深い学び推進事業 推進校」の指定（3年間）を受け、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた研究の機会をいただいた。指定1年目は、研究教科を算数科に絞って研究を進め、「主体的・対話的で深い学び」について共通理解を図った。2年目は、課題提示に工夫と対話的な活動を促す発問の工夫に焦点を当て、授業づくりを行いながら研究を進めた。「学級力の向上」と「主体的・対話的で深い学び」は互いに関係しており、共に推し進める必要があることが確認された。

本年度は、教科を算数から他教科にも広げていく。その中で、過去二年間の研究の他教科への有効な活用について、指導と評価の一体化をより意識したより良い評価の方法や場面について、授業実践を行いながら検証し、「主体的・対話的で深い学び」の更なる追究・充実を図っていきたい。そして上記に示した本校の課題を解決しつつ、学校教育目標「自ら学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成」の達成を目指していく。

## 4. 具体的な取組内容

- ・「学級力向上プロジェクト」の実践の継続と、授業との関連付け

「学級力向上プロジェクト」に取り組む中で、取り組みが継続していくよう取り組み方法を教師間に伝え、浸透させていく。また、スマイルタイムの進め方の共通理解を図っていく。さらに、授業との関わりについて研究授業等で検証していく。

- ・各教科へ実践の広がり

算数科だけでなく、各教科でも研究実践を行う。その際、過去2年間で培ってきた授業づくりの方法が、各教科にも当てはめられるのか否かを検討する。

- ・指導と評価の一体化の継続した検討や実践

昨年度までの課題を引き継ぎながら、より良い評価の場面や方法について検討、実践をしていく。

・学校と家庭との連携

学習を効果的に進めていく上で、学校と家庭との学習が有機的に結びつき、車の両輪として機能していくことが求められる。その中で、全校体制で実践することができ、学校と家庭が同じ方向を向いて取り組んでいけるような、より良い方法について検証していく。

5. 年間研修計画

| 日程   |        | 内容                          | 学年 | T・C要請                               |
|------|--------|-----------------------------|----|-------------------------------------|
| 第1回  | 4月8日   | 研究の方向性                      |    |                                     |
| 第2回  | 4月15日  | 研究内容・計画等の決定                 |    |                                     |
| 第3回  | 4月24日  | スマイルタイムの学習会・家庭学習について        |    |                                     |
| 第4回  | 5月13日  | 各自での授業実践の進め方<br>ブロック別に指導案検討 | 未定 |                                     |
| 第5回  | 6月3日   | 拡大校内研究会<br>(指導案検討・ブロックごとに)  | 未定 | 山梨大学清水准教授<br>山梨県教委指導主事<br>山梨市教委指導主事 |
| 第6回  | 6月17日  | 拡大校内研究会<br>(研究授業・研究会)       | 未定 | 山梨大学清水准教授<br>山梨県教委指導主事<br>山梨市教委指導主事 |
| 第7回  | 7月1日   | 研究授業のまとめ                    |    |                                     |
| 第8回  | 8月19日  | 研究前半(家庭学習・学級力)の振り返り         |    |                                     |
| 第9回  | 9月30日  | ブロック別に指導案検討                 | 未定 |                                     |
| 第10回 | 10月7日  | 拡大校内研究会<br>(指導案検討・ブロックごとに)  | 未定 | 山梨大学清水准教授<br>山梨県教委指導主事<br>山梨市教委指導主事 |
| 第11回 | 10月28日 | 拡大校内研究会<br>(研究授業・研究会)       | 未定 | 山梨大学清水准教授<br>山梨県教委指導主事<br>山梨市教委指導主事 |
| 第12回 | 11月9日  | 研究授業のまとめ                    |    |                                     |
| 第13回 | 11月25日 | 各自の実践からの学習会                 |    |                                     |
| 第14回 | 12月9日  | 学級力プロジェクト報告会                |    |                                     |
| 第15回 | 1月20日  | 紀要作成について確認                  |    |                                     |
| 第16回 | 1月27日  | 研究の成果と課題の検討                 |    |                                     |
| 第17回 | 2月17日  | 研究のまとめ                      |    |                                     |